



REDD+

**「森から世界を変えるREDD+プラットフォーム」
コミュニケーション展開**

SNS/動画展開案

2014年12月18日

REDD+プラットフォーム
情報発信分科会 事務局

ネット+イベントを発信源とするフリーパブ+口コミ（BUZZ）による継続的な拡散の実現

説得力のあるファクトの積み重ね
プラットフォーム活動の進捗を地道に継続発信

×

ネット上の自然なBUZZ拡散
「人に伝えたい話題」にする文脈づくり/演出

告知
(関心喚起)

プレスリリース
PR活動
→記事化(パブ)

加盟団体
協力団体
ウェブサイト等PR

イベント

サポーターによる発信

継続的情報発信
(着々と進んでいるファクト発信)

Twitter

●4ターゲットの集まるアカウントと
の相互フォロー促進
→情報拡散推進

Facebook

●プラットフォームの進捗を
リアルタイムに報告。
→「希望」が「実現」へ向かって
着実に進んでいることをレポート

メールマガジン

●関心を持った層への
継続的なまとめ情報の発信
→関心の継続

参加・継続的関心

公式
ウェブサイト

<組織>
事務局へ
問合せ
↓
PFへの
加入

<個人>
メルマガ
登録等

●Facebook(及びTwitter)での発信情報の整理

種別	項目	情報収集の方法	頻度など
A プラットフォーム からの発信	①参加各社の紹介	●取材(担当者インタビュー等) →・参加の意図(メリット)・社会へのメッセージなど	*毎月1~2社 複数回に分けて連載 等
	②プロジェクトの進捗情報	●各ビジネスモデルのモデルとなるような代表的プロジェクトの 進捗状況を毎月追いつけて紹介	*2~3プロジェクトを 毎月1~2回程度連載
	③分科会など プラットフォームの 活動紹介	●分科会などプラットフォームの事業を取材し紹介	*活動ごとに紹介(毎月数回?)
	④プラットフォーム各社からの 告知、情報提供	●REDD+プラットフォームに関連する情報を参加各社より いただき紹介	*随時
	⑤その他、PRイベントの紹介	●プラットフォームとしてイベントに出展したりした場合の 告知と当日取材など	*随時
	⑥プラットフォーム参加促進(告知)	●定期的に発信	*月数回
B 広い層の関心を 引きつける情報 PFが知らせたい 情報ではなく ターゲットが見たい情報	①サポーター発信の情報	●サポーターのREDD+への思い、関心、メッセージ。 (インタビュー、エッセイ?)	
	②REDD+自体の最新情報	●世界のREDD+(や森林保護)関連の ちょっと興味深い情報	*読んでもらうためにはパッと見で興味 をひく写真が重要なので、写真の調達 が課題
	③関連情報 ・森林経済の最新情報 ・環境問題(気候変動など) ・動物保護などの関連情報 ・国際貢献関連情報 ・アジアの文物 などなど	●幅広い層がREDD+(及びプラットフォーム)へ、関心をもつ きっかけとなる情報を発信 (いいね、フォローしてもらおうと継続的に情報に接触してもらえ、 PF情報にも接してもらえ)	*きっかけはパッと見のインパクト + *フォロー促進 PFに参加している人々の思いや 哲学に共感してもらえることが重要。

当面のTo Doその1

種別	項目	詳細	備考
Twitter	●発信者の設定 (FBと共通)	<ul style="list-style-type: none"> ●文例案を提出 ●発信者(名義)案 1: REDD+プラットフォーム事務局 2: REDD+プラットフォームSNS編集部 ●FB記事の見出し・惹句化 	<ul style="list-style-type: none"> *リアルさ、信頼感を重視。キャラ化などはしない。 *アイコンは、ロゴ想定
動画	●Facebookへの動画投稿	<ul style="list-style-type: none"> ●仕組み篇(公式サイト掲載:別紙参照)の短縮版をFBなどでの拡散用に投稿 * Twitterでも拡散 ●2015年度4月以降 海外のプロジェクト現場レポート映像を掲載 	
FB 記事 制作 A	プラットフォーム 発信	<ul style="list-style-type: none"> ●1月 事務局の中心メンバー JICA(宍戸さん)、森林総研(松本センター長)等 ●2月～3月 各WGの中心メンバー ナレッジ分科会 * * * * ビジネスモデル分科会 住友林業、三菱UFJ リサーチ&コンサルティング 情報発信 * * * * 	<ul style="list-style-type: none"> * 毎月1～2社 複数回に分けて連載 等
		<ul style="list-style-type: none"> ●各ビジネスモデルの代表的プロジェクトなどから追跡紹介するプロジェクトを選ぶ(推薦していただく?) →2015年度に現地取材する予定なので、進捗具合や見栄えも含めて検討 	<ul style="list-style-type: none"> * 2～3プロジェクトを 毎月1～2回程度連載
		<ul style="list-style-type: none"> ●12月 11月の設立総会 & シンポジウム 12/18 情報発信分科会定例会(参加団体向け)1530-1730@JICA本部 12/24 ビジネスモデル分科会定例会(分科会参加団体向け) & 勉強会(公開)1330-1530@JICA市ヶ谷 12月下旬～1月(日程調整中) ナレッジ分科会定例会 ● 1月中旬～下旬(日程調整中) 第1回実行委員会 	<ul style="list-style-type: none"> * 活動ごとに紹介(毎月数回?)
		<ul style="list-style-type: none"> ●プラットフォーム各社からの告知、情報提供 → ガイドライン、選択の仕組みを事務局と設定 	<ul style="list-style-type: none"> * 随時
		<ul style="list-style-type: none"> ●プラットフォームとしてイベントに出展したりした場合の告知と当日取材など 	<ul style="list-style-type: none"> * 随時
		<ul style="list-style-type: none"> ●定期的に発信 → 文案を作成 	<ul style="list-style-type: none"> * 月数回

当面のTo Doその2

種別	項目	詳細	備考	
FB 記事 制作 B	編集部 制作	<p>①サポーター発信の情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●サポーターの選定、交渉 詳細別紙 <ul style="list-style-type: none"> ・お願いする事項の整理 ご自分関係のTwitter、FBでの発信含む 動画出演も交渉 ・リストアップ ・交渉の段取り ・スケジュール設定 等々 ●1月～ 毎月 1名程度にインタビューORエッセイ執筆依頼 	
		<p>②REDD+全体の最新情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●世界のREDD+(や森林保護)関連のちょっと興味深い情報 例:JAXAのだいち2号が宇宙から森林センシング開始 など プラットフォームとは直接関係ないがREDD+がらみの興味深い情報 * 月一回程度・編集会議 	<p>* 読んでもらうためにはパッと見て興味をひく写真が重要なので、写真の調達が課題</p>
		<p>③関連情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林経済の最新情報 ・環境問題(気候変動など) ・動物保護などの関連情報 ・国際貢献関連情報 ・現地のこぼれ話 など 	<ul style="list-style-type: none"> ●幅広い層がREDD+(及びプラットフォーム)へ、関心をもつきっかけとなる情報を発信 (いいね、フォローしてもらおうと継続的に情報に接触してもらえ、PF情報にも接してもらえる) * 森林総研、JICAからのネタ提供可能そうでしょうか？ * ネットやメディアからの情報を編集部が選択も * 写真の使用について ソースとなる団体からの提供、 ライブラリーなどのイメージ写真を使用を想定 	<p>* 月2～3本</p>

動画構成案

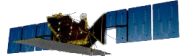
- REDD+を初めて知った想定のREDD+プラットフォームサポーター（JAXA宇宙飛行士・野口聡一氏想定）とREDD+レポーター（女性気象予報士）との

掛け合いで構成

- サポーターがREDD+の仕組みのすごさを知って驚き、レポーターがプラットフォームの内容説明、参加方法を紹介していくという展開（約

<導入部> 四方良しの スーパーソリュー ション登場！

- 宇宙空間から見た地球、野口聡一氏が登場。
「今、地球はいくつかの大きな問題を抱えています。毎秒**個分の森林が減っています。」
- そこにREDD+を紹介するレポーター登場。
「いよいよ待たなしになった気候変動のリスク、日本など先進国はどう対応するのか、今世界が直面する4つの大きな社会課題を一度に解決できるすごいソリューションが存在するんです。」
- えっと驚く野口さん。
- レポーター「それが、途上国の森を守ることで世界の持続的な発展に貢献する四方良しのスーパーソリューション、REDD+なのです。世界の森を救う日本発のREDD+プラットフォームが誕生しました、みなさんもぜひご参加ください。」



<現状の問題点> 「森を守ること」で 世界は変わる

- （レポーターの説明）従来の「気候変動への対応」は、各ステークホルダーにマイナスを負ってもらおう四方一岡損型でした。
- ・IPCCレポートから森林伐採の現状、先進国の経済問題、脅かされる野生生物・・・リアルな資料映像にもとづき危機的状況を説明。
- ・REDD+は従来型とは違う「地球・先進国・途上国・野生生物」の四者がすべて得をする、地球にも経済にもコミュニティにも良い気候変動対策です」と説明。

<REDD+とは> 四方良しの 構造説明

- （野口氏とレポーターの掛け合いで）チャートを動かしながら「すべてのステークホルダーが得をする」仕組みを紹介。



<PFの意義> 日本ならできる！ REDD+の推進

- 森から世界を変えるREDD+プラットフォーム誕生の意義とこれからやりたいことを紹介。
- ・日本の進んだ環境技術、JAXAなどのセンシング技術・航測技術、高度なビジネスモデル構築力など、日本の知恵が今世界で求められています。
- ・3つの分科会で「最先端の技術やナレッジの共有」「ビジネスモデルの構築」「情報発信」を行っていきます。世界で始まっているREDD+の取り組みも最新情報を継続的に発信します！

<参加方法紹介> あなたも ぜひご参加を！

- 野口氏が「企業や団体、NPO（そして一般市民）はどうしたらプラットフォームに加盟(応援)できるのか？」と問い、レポーターが加盟方法を解説。
 - ・企業、団体、NPO → 「あなたの知恵を貸してください。」加盟方法紹介
 - （一般市民/個人 → 「REDD+PFの情報をフォローし拡散してください。加盟する企業や団体を応援してください。」イベント紹介） etc.
- ふたりでニッコリ「四方皆良しの解決を推進するREDD+プラットフォーム、みなんで応援していきましょう！」